

氏名 R.S 学校名 アムステルダム日本人学校 学年 高1

1. 海外在住 12 年 (オランダ在住 2 年)
2. 英検 準1 級 TOEFL 点
3. 生徒会活動 有 (役職名 生徒会副会長)

4. 受験高校 (もし必要なら、行をコピーして増やしてください。)

入学	高校名 (コース名)	都道府県 (市)	一般枠/帰国枠/推薦	入試科目 (学科)	面接	小論文	合否
<input checked="" type="checkbox"/>	慶應義塾女子高等学校	東京都	一般・ <input checked="" type="radio"/> 帰国・推薦	3教科+作文	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 合・ <input checked="" type="radio"/> 否
<input type="checkbox"/>	慶應義塾湘南藤沢高等部	神奈川県	一般・ <input checked="" type="radio"/> 帰国・推薦	3教科	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 合・ <input checked="" type="radio"/> 否
<input type="checkbox"/>	桐蔭学園・理数コース	神奈川県	一般・ <input checked="" type="radio"/> 帰国・推薦	書類審査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 合・ <input checked="" type="radio"/> 否
<input type="checkbox"/>			一般・帰国・推薦		有・無	有・無	合・否
<input type="checkbox"/>			一般・帰国・推薦		有・無	有・無	合・否

5. 試験の感想 (学校別をお願いします。)

①試験全体を振り返って。

慶應義塾女子高等学校：私は数学で思うように解けず、終わったあとにとっても焦りましたがその後に作文が控えていたため一つ一つの教科の合間できちんと気持ちを切り替えることが大切だと実感しました。

慶應義塾湘南藤沢高等部：SFCの英語は非常に難しく、試験前からあまり点数はとれないだろうと予測していたため、自分の得意分野でいかに点数をとるかを重視しました。また、国語は文章題が非常に長い上に問題数も多かったので時間配分にも気を付けることが重要だと思いました。

桐蔭学園：書類審査のため試験はなかったのですが、その分願書・成績で合否を判断されてしまうため、普段の学校生活でそれなりに責任のある立場に立つこと、願書でなぜその学校に入りたいのか、どれほど入りたいのかを主張することが大切だと思いました。

②面接試験の傾向と感想

慶應義塾湘南藤沢高等部：私は英語と日本語の比率が6：4くらいの面接でした。インターに通っていたのがだいぶ昔だったため、きちんと応答できるか不安でしたが、基本的に質問の内容は簡単な言葉で簡潔に聞かれました。応答するときは変に難しい言葉を使ってリスクを冒すのではなく、自分の使い慣れているような言葉で思っていることを話すことに集中しました。

③小論文試験の傾向と感想

慶應義塾女子高等学校：今年の題は「あなたが小さい頃夢中になった童話についてその内容と魅力について書きなさい。」という比較的書きやすい文章でした。内容については簡潔に、自分がその物語が好きな理由をいくつか挙げながら詳しく書くよう心がけました。

④ その他

6. 自分の受験勉強法

英語：朝少し BBC など英語ニュースを見たり、英検準1級・1級のパス単を使って単語を覚えていました。

数学：私は確率・空間図形が苦手だったため、受験直前にはこの2つを重点的に勉強して克服できるよう努力するとともに、自分の得意分野ものばせるように勉強しました。

国語：古文がまったくできなかつたため、色んな学校の過去問・頻出単語が盛り込まれている参考書を買って、勉強しました。また、文学史の知識がまったくといっていいほどなかつたので、赤シートを使うなどして覚えました。

全体を通して：私は長時間勉強することが苦手だったため、短時間で集中して勉強するようにしていました。

7. 学校生活の感想、アドバイス

私は生徒会活動や色んな行事の実行委員をしていましたが、それは願書を書く際にとっても有利になる上に、受験には関係なくその後においても良い経験となるためぜひ皆さんもやってみた方がいいと思います。人前に立ってからでしか気づけないことはたくさんあるし、その経験は絶対に自分の世界を広げてくれます。チャンスを無駄にせず、どんどん挑戦してみてください。

8. JPPC での体験、感想

私は JPPC で初めて個別指導を経験したのですが、自分の苦手なところ、もっと伸ばしたいところを重点的に教えていただけるため、どんどん自分の力を伸ばすことができました。周りに人がいないためグループ指導よりも集中できるし、恥ずかしがらずに質問できたため、通って本当に良かったと思いました。

9. 後輩へのメッセージ

受験は自分のやりたいことも制限しなくてはならないし、周りからのプレッシャーもあってストレスがたくさん溜まることもあると思います。でも、その努力の先にあるものを見据えて頑張っていくことが重要です。不安やプレッシャーに押しつぶされそうになっても、自分には家族や友達という存在がいるということを思い出してください。1人で悩まずに、どんどん相談していいと思います。皆さんの成功を願っています。